

施策項目 1 - 1 義務教育における確かな学力の育成

[評価結果]

【担当課:義務教育課(ICT教育推進課)】



担当課HP

総合評価	進展あり
------	------

定量評価 [指標]	C
-----------	---

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	0	0	2	7
	d評価となった指標	① ⑤ ⑥ ⑦			

定性評価 [施策]	進展あり
-----------	------

授業改善を推進する「授業改善推進チーム活用事業」の配置校及び連携校においては、全国学力・学習状況調査の結果、全道平均と比較し平均正答率の伸び幅が大きくなっている。
また、全国学力・学習状況調査の結果から、中学校において、2教科ともに全国平均との差が縮まるなど改善の傾向が見られたが、小学校・中学校のすべての教科で全国平均に届いていない状況にあり、自分の考えを持ち、筋道を立てて説明することなどに課題が見られたことから、この課題解決に向けて、「学力向上推進事業」を実施した。

[施策の推進状況]

【P】・・・「Plan 令和3年度の主な施策」 【D】・・・「Do 主な取組の状況」
【C】・・・「Check 施策の課題」 【A】・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	<p>(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 ・全国学力・学習状況調査では、全国との差は縮小傾向であるが、依然、全教科における正答率は全国平均以下の状況であるため、各学校の一層の授業改善が必要</p> <p>(2)学力向上に向けた検証改善サイクルの確立 ・各学校の検証改善サイクルの確立については、改善が見られるが、成績については地域によって偏りがある。チャレンジテスト等の結果による客観的なデータを活用した検証改善サイクルの確立が求められる。</p>
---------	---

(1)「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善	
[P]	<p>①「授業改善推進チーム活用事業」における推進チームの拡充</p> <p>②「組織力強化会議」による組織的な授業改善</p> <p>③小中学校の連続した教育課程や教育活動の質の向上に関する支援</p> <p>④クラウドを活用した学校間における情報の共有</p>
[A]	<p>①・授業改善推進教員による学校、地域の学力向上を図るため授業改善を推進 ・連携校を増やし、成果を更に普及</p> <p>②組織力強化会議に参加したミドルリーダーによる校内研修を実施し、学校全体の授業改善を推進</p> <p>③「カリキュラム編成全道研修会」における事業成果の普及</p> <p>④各種会議において利用の呼びかけ、情報交換会の実施</p>
[D]	<p>①14市18町1村、82校、32チームで実施、ICTの活用を中心に実践を進めるチームを位置付け（※R2 38市町82校、32チーム）</p> <p>②各学校の校長等を対象とした組織的な授業改善の方策についての協議を年2回実施（14管内）</p> <p>③「小中一貫教育サポート事業」を実施</p> <p>④「授業改善推進チーム活用事業」の配置校間において情報共有、情報収集ができるようクラウド上に「ネットワークコミュニティ」を設置</p>
(2)学力向上に向けた検証改善サイクルの確立	
[P]	<p>①「組織力強化会議」による各学校の検証サイクルの改善充実</p> <p>②「チャレンジテスト」のCBT化に向けた取組</p> <p>③「学力向上ロードマップ」に基づく取組の検証と改善策の明確化</p> <p>④全国学力・学習状況調査北海道版結果報告書を活用した学力向上のための取組の促進</p>
[A]	<p>①各教育局の実情に応じて年2回実施。組織力強化会議アドバイザーの活用</p> <p>②・CBT問題の一層の充実 ・英語リスニング問題の実施</p> <p>③「学力向上ロードマップ」の内容項目を見直し、各教育局の学力向上の取組を改善</p> <p>④全国学力・学習状況調査北海道版結果報告書の充実と活用の促進</p>
[D]	<p>①検証改善サイクルの確立に向けたデータ等の活用方法についての協議を年2回実施（14管内）</p> <p>②実施教科等を限定して実施協力校により試行実施 ・6月（1学期末問題）において9校で試行実施 ・11月（2学期末問題）において35校で試行実施</p> <p>③教育局を対象としたヒアリングにおいて、学力向上の取組についての協議を実施（14管内）</p> <p>④学習習慣の確立に向けた取組事例の普及</p>
[C]	<p>①年2回の実施で延べ2,631名の教職員が参加し、学力向上の取組やICTを活用した授業改善について協議。協議内容を実践に反映するため、各管内における課題と取組を共有することが必要</p> <p>②児童生徒及び学校の習熟のため、CBT化する教科や実施学年の一層の拡充が必要</p> <p>③各教育局を対象に実施（11月） 各管内の学力向上の取組に向けた成果と課題が明らかになったことから、明らかとなった課題等を踏まえて、「学力向上ロードマップ」を見直し、取組の改善を図ることが必要</p> <p>④子どもの主体的な家庭学習を促す必要があるため、学校全体で共通理解を図り、一貫した指導を徹底・継続することが必要</p>

【指標の状況及び評価】

指標の内容	基準値	目標値（上段）						進捗率	評価	出典 (調査名等)	実施主体	調査期 日又は 調査対 象期間	指標の 対象
		実績値（下段）											
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)						
① 「児童(生徒)の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立していますか」という質問に対して、「よくしている」と回答した学校の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29) 41.8	53.5	65.1	-	88.3	100	57.9%	d	全国学力・学習状況調査	文科省	R3.5.27	公立小・中学校
	中	(H29) 39.7	51.8	63.8	-	87.8	100	57.3%	d				
② 「授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29) 52.6	-	-	-	-	100	-	-	全国学力・学習状況調査	文科省	※平成30年度調査項目削除	公立小・中学校の児童生徒(小6・中3)
	中	(H29) 46.7	-	-	-	-	100	-	-				
③ 「授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29) 36.6	-	-	-	-	100	-	-	全国学力・学習状況調査	文科省	※平成30年度調査項目削除	公立小・中学校の児童生徒(小6・中3)
	中	(H29) 20.7	-	-	-	-	100	-	-				
④ 「学級やグループの中で自分たちで課題を立て、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか」という質問に対して、「当てはまる」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29) 27.3	-	-	-	80.0	100	-	-	全国学力・学習状況調査	文科省	※令和3年度調査項目削除	公立小・中学校の児童生徒(小6・中3)
	中	(H29) 23.1	-	-	-	80.0	100	-	-				
⑤ 「今回の国語、算数・数学の問題について、どのように解答しましたか(最後まで解答を書こうと努力しましたか)」という質問に対して、「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小国	(H29) 75.2	-	85.1	-	95.0	100	85.6%	c	全国学力・学習状況調査	文科省	R3.5.27	公立小・中学校の児童生徒(小6・中3)
	小算	(H29) 66.7	73.4	80.0	-	93.3	100	83.6%	c				
	中国	(H29) 69.5	-	81.7	-	93.9	100	77.0%	d				
	中数	(H29) 51.0	60.8	70.6	-	90.2	100	60.4%	d				
⑥ 「学校の授業以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれぐらいの時間、勉強をしますか」という質問に対して、「1時間以上勉強する」と回答した小学校6年生、中学校3年生の割合(%) 【全国学力・学習状況調査】	小	(H29) 57.1	65.7	74.3	-	91.4	100	63.8%	d	全国学力・学習状況調査	文科省	R3.5.27	公立小・中学校の児童生徒(小6・中3)
	中	(H29) 64.2	71.4	78.5	-	92.8	100	77.5%	d				
⑦ 小・中学校の国語A・B、算数・数学A・Bの平均正答率の整数値での比較において、全国以上の教科数 【全国学力・学習状況調査】	(H29)	2	2	2	0	4	4	0.0%	d	全国学力・学習状況調査	文科省	R3.5.27	公立小・中学校の児童生徒(小6・中3)
評価結果	(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価		C		d評価に対する今後の取組				
	0	0	2	7					①⑤⑥⑦ ・引き続き学力向上に資する取組を続ける ・学力向上に向けて学校と地域が一体となった地学協働の取組を進める ・ICTを活用した各学校における授業改善を推進する				